

令和5年度全国学力・学習状況調査の概要

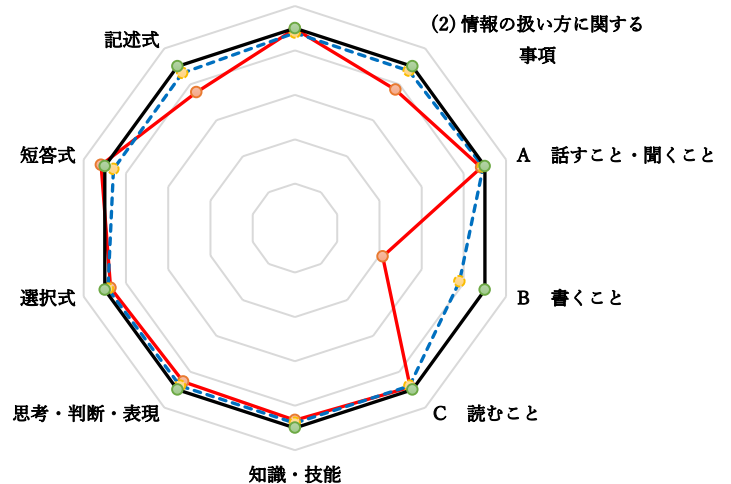
～国語科～

- 全道・全国平均正答率を下回る結果となりました。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」で、全道・全国平均正答率を上回りました。
- 「話すこと・聞くこと」、「読むこと」の領域で、全道・全国平均正答率と同等の結果となりました。
- 「書くこと」の領域で課題が残りました。
- 記述式問題の回答に、課題が残りました。

【小学校 国語】

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

(2) 情報の扱い方に関する事項



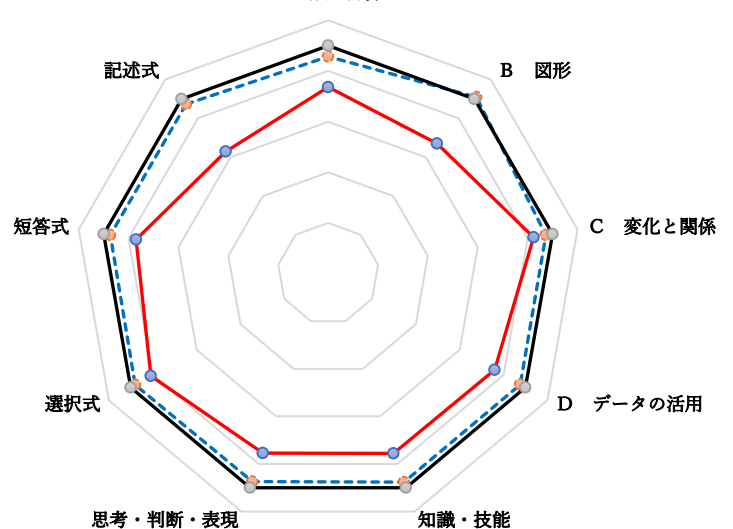
—●— 西小学校 - - - ● - - - 北海道(公立) —●— 全国(公立)

～算数科～

- 全道・全国平均正答率を下回る結果となりました。
- 「変化と関係」の領域で、全道・全国平均正答率に近づく結果となりました。
- 「図形」の領域で課題が残りました。
- 「記述式問題」の平均正答率では、課題が残りましたが、無回答率は、全道全国の無回答率と比べても多くはなく、粘り強く取り組もうとする姿勢が見られています。

【小学校 算数】

A 数と計算



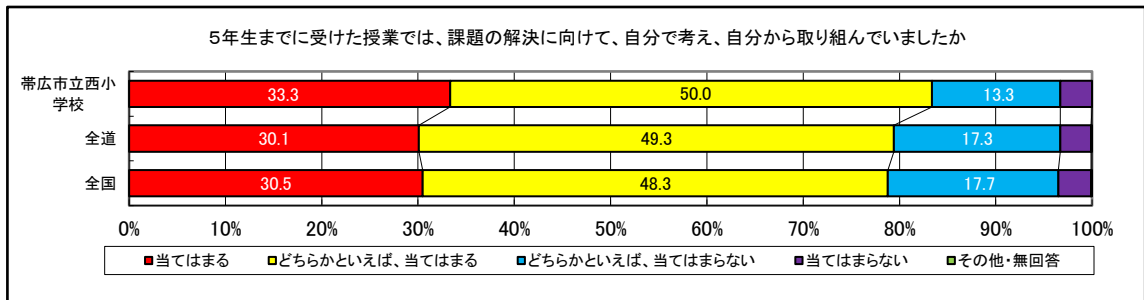
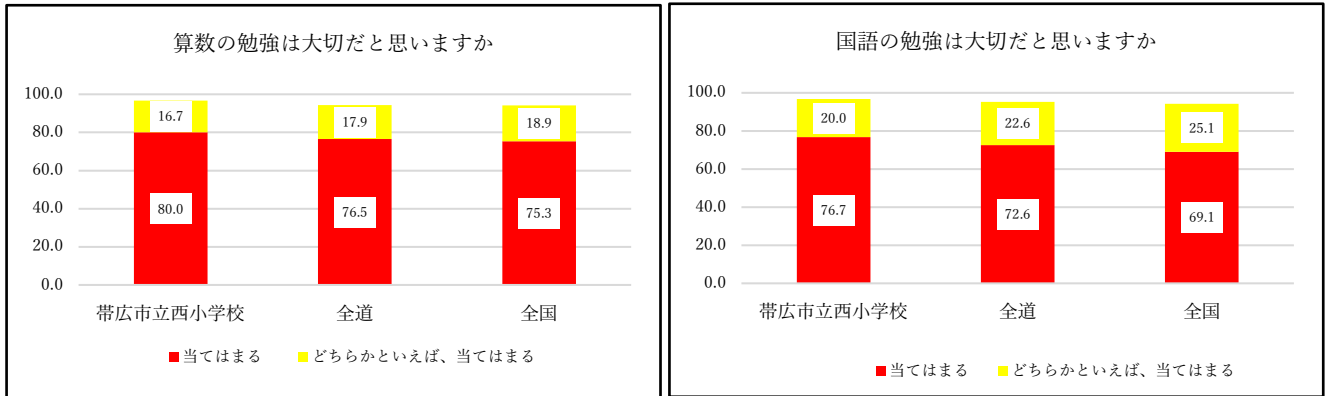
—●— 西小学校 - - - ● - - - 北海道(公立) —●— 全国(公立)

～児童質問紙～ (学習状況や生活状況、規範意識や自尊感情等を質問形式で回答した調査)

<学習状況>

○国語・算数の「学習を大切だと思う」と回答した児童の割合がいずれも9割以上、授業内容はよく分かると回答した児童の割合がいずれも8割程度となったことから、学習を大切にし、課題解決に向けて意欲的に取り組み、よく理解していることが分かりました。

○児童は学習の中でコンピュータなどのICT 機器を有効に活用できています。

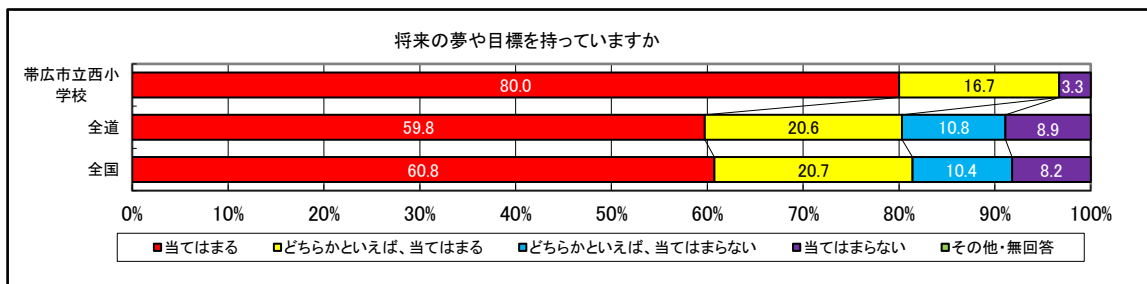


<生活状況・その他>

○朝食を食べる、同じ時刻に寝る・起きるなどの、基本的な生活習慣が定着しています。

○いじめはどんな理由があってもいけないことであるという認識をもつ児童の割合が高いことがわかりました。

○自己肯定感・自己有用感が高く、将来の夢や目標をもって、何ごとに対しても意欲的に取り組む傾向が見られます。また、8割以上の児童が「地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思う」と回答しており、地域を大切にしている心情が育っていることも分かりました。



～改善策(学校としての今後の取組)～

◎国語科を中心として、自分の考えを整理して「書く」活動や、記述した内容をもとにして、他の児童と考えたことを交流したり、話し合ったりするような活動を授業に取り入れていきます。

◎タブレット端末をはじめとした ICT 機器を授業の中で有効に活用し、児童の興味関心を高めたり、児童が自分の考えを整理したり、考えを深めたりする活動を工夫していきます。

◎家庭との連携・協力をより一層深め、個に応じた無理のない、家庭学習の質と量の向上を目指します。